

「青もみじと琵琶湖疏水の流れ～歩く～歴史を学ぶ」

平成 26 年 6 月 14 日（土）開催

疏水散策 水資源学ぶ

左京の法人 琵琶湖通船復活願い

琵琶湖疏水の歴史をたどる散策会が14日、大津市から京都市にかけて開かれた。参加者は明治期の建築技術の粋を集めた施設を巡り、水資源の大切さについて理解を深めた。水問題に関心を持つ学識者や市民たちでつくる一般社団法人「Com aqua（コム・アクア）」（左京区）が、京都市と大津市が目指している琵琶湖通船の復活を後押しする目的で開いた。市民ら18人が参加した。参加者は京阪追分駅（大津市）を出発し、疏水に沿って琵琶湖疏水記念館（左京区）まで約7キロを歩いた。トンネルや橋では京都府職員で土木技師の安田勝さん（57）＝左京区＝が工法を解説した。公務員大沼全さん（32）＝伏見区＝は「古くからの技術に支えられて私たちの水が運ばり、感慨深い」と話していることが分かった。（高野英明）

琵琶湖疏水の歴史を学びながら散策する参加者（京都市山科区）

京都新聞平成 26 年 6 月 15 日朝刊掲載



「青もみじと琵琶湖疏水の流れ～歩く～歴史を学ぶ」
平成 26 年 6 月 14 日（土） 於：琵琶湖疏水記念館